

## 県立市川昂高等学校

### 目 標

- ・ 留学生と交流することで、海外への興味関心や国際的な視野を育む契機とし、併せて主体的に外国語を学ぶための動機づけとして活用する。

### 留学生等との交流会の開催

#### 1 留学生との交流会①

- (1) 日 時：平成30年6月25日(月) 13時25分から15時30分
- (2) 会 場：本校地学室及び生物室
- (3) 留学生等：メロス言語学院の留学生等14名
- (4) 参加者：第3学年生徒37名(中国語・韓国語選択者)、教員4名、計 41名
- (5) 内 容：

- ・ 3年選択授業「中国語」「韓国語」授業見学
- ・ 交流授業体験(授業に参加し生徒とともに学ぶ)
  - ・ 授業者あいさつ
  - ・ 自己紹介
  - ・ グループディスカッション
  - ・ 質疑応答



- (6) 事前学習：

授業において、正確に言語が伝わらなくても積極的にコミュニケーションをとり、交流活動ができるよう指導した。日本文化紹介や学校紹介などを指導するとともに、積極的に質問できるよう指導した。

- (7) 事後指導：

現在の授業担当者との交流を行うとともに、生徒が主体的、積極的にコミュニケーションがとれるよう、自己表現を行ったことに対し、個別に助言を与えた。

- (8) 参加者の感想等：

英語の授業でALTと話すことはあったが、近くでたくさん話したのは初めてでとても緊張した。韓国との文化の違いも面白かったし、たどたどしくはあったが少しでも韓国語を話せてよかった。もっと勉強して韓国語をきちんと話せるようになりたい。自分の勉強不足を感じた。

#### 2 留学生との交流会②

- (1) 日 時：平成30年10月15日(月) 13時25分から15時30分
- (2) 会 場：本校地学室及び生物室
- (3) 留学生等：メロス言語学院の留学生等15名
- (4) 参加者：第3学年生徒37名(中国語・韓国語選択者)、教員4名、計 41名

(5) 内 容 :

- ・ 交流授業体験 (授業に参加し生徒とともに学ぶ)
- ・ 自己紹介の後、グループごとにそれぞれの国の文化や言語の特性を主題にディスカッションを行った。
  - ・ 授業者あいさつ
  - ・ 自己紹介
  - ・ グループディスカッション
  - ・ 質疑応答



(6) 事前学習 :

授業選択者に、事前に質問事項などを準備し、当日に臨むよう指導した。日本文化紹介や学校紹介などを指導するとともに、積極的に交流できるよう指導した。

(7) 事後指導 :

現在の授業担当者との交流を行うとともに、生徒が主体的、積極的にコミュニケーションがとれるよう、自己表現を行ったことに対し、個別に助言を与えた。

(8) 参加者の感想等 :

中国の方と話すのは緊張したが、楽しく中国語でがんばって質問をしたり会話をしたりできた。他にも発音を詳しく教えていただいたり、中国や日本のことについてお話しできたりして文化の違いなどがわかった。

## 事業の成果

- ・ 今年度は、交流相手校との日程調整の関係から、毎年度3回計画している語学交流会を2回に減らしての実施になったが、本校生徒の感想等で見ると十分な学習効果を得られたと考える。実際に他国の方と間近に話す機会を持つことで、他国の文化や言語への興味関心を深めるばかりではなく、他国の方に対する同時代人としての共感を育み、国際人としての視野を広げる契機となった。

## 今後考えられる新たな取組

- ・ 昨年度本欄で記述した学年全体としての国際交流について、本年度にプロジェクト外の行事として実施することができた。これまで一部の生徒が参加するだけだった国際交流行事に、全校生徒が在学中に一度は参加する機会を持てるようになったことは意義深い。今後は、この行事の内容的な深化を図りながら一層実のある国際理解教育を推進していきたい。